

令和4年度 第3回 小中一貫教育校推進委員会報告書

1 開催概要

日時：令和4年11月10日（木）18:00～19:00 / 場所：旭丘小学校

2 開催内容

- メモリアル品の保存方法（推進委員会案）の決定について
- 建築計画に関する周辺住民説明会の開催について
- 仮設校舎建設工事説明会の日程・説明概要について
 - ・保護者および地域説明会の日程・説明概要について
- 校名、校章、校歌、標準服の検討方法について

3 当日の主な意見等と区の考え方

〔周辺住民説明会について〕

- 周辺住民説明会では、新設校舎の計画概要と緑化計画について説明をし、質問もその内容だけ受け付けるのか。
 - ➡ 建築関係の説明会にも、関係する教育委員会の管理職が出席します。例えば、学級数や標準服、通学区域など工事に直接関係しない質問があっても、これまでと同様にお答えします。

〔校名、校章、校歌、標準服の検討について〕

- 校名の案について、公募で案を募るパターンと内部で決めるパターンの2つがある。大泉桜学園や杉並和泉学園、高円寺学園などで実績がある中で、苦勞したことやリスクなどはあるか。
 - ➡ まとまりきらなくて大変だったなど、ネガティブな話は聞いている範囲ではありません。想定される苦勞として、公募で案を募った場合に様々な良い案が出てきて絞込みが難しくなるのではないかという点がありますが、区としては、地域の方々から広く案をいただくのがよいのではないかと考えています。

- 小竹地域は校名には反映されないのか。
 - ➡ 旭丘・小竹地域に新しくできる小中一貫教育校の通称名はどのようなものがふさわしいのかという議論であり、小竹小学校の子どもたちも旭丘中学校に進学するため、広く旭丘・小竹地域の方々に意見をお伺いしたいと考えています。
- 将来、状況が変わった場合に通称名を変更することはありえるのか。
 - ➡ 変わることが絶対にはいえませんが、通称名を変更する場合には、校歌や校章も作りなおす必要があるなど、様々な影響を併せて考える必要があります。
- 校名をつけるときに、簡単なルールを作って公募をした方がいいのではないか。例えば、地名や既存のもの名前はなるべくやめた方がよいのではないか。
- 伝統的な地名であれば使っても構わないと思う。区が公平性を守っていってくれば、何年か経てばそれがなじむ名前になると思う。
 - ➡ いただいたご意見・ご提案を十分に踏まえながら検討していきます。
- 標準服の有無の検討は、小学生についてか、それとも中学生も含めてか。
 - ➡ 中学生も含めて検討したいと考えています。
- 校名や標準服については、ぜひ、子どもたちやこれから通うお子さんがいるPTAに意見を出してもらいたい。アンケートを取ったことを知らなかったということがないように、できるだけPTAの方たちに推進してほしい。
- 標準服をつくる場合、つくらない場合のメリット・デメリットについては、男女の差や各家庭のいろいろな考え方があると思う。PTAとして役に立てればとは思いますが、皆さんのご意見やそれぞれの事情も考慮しながら決めていかなければならない。校名も含め、非常に難しい問題になると思うが、よりよいものを作っていきたい。

【その他】

- 仮設校舎、新校舎にはPTA室はないのか。
 - ➡ 区の学校改築においてはあらかじめPTA室という専用の部屋はつくらないこととしています。仮設校舎、新校舎ともにPTA室という名前の部屋はありませんが、PTA室の機能として使える部屋はあるため、学校と相談の上、運用の中である部屋をPTA室として使用することは可能です。